

令和5年度 学校経営計画及び学校評価

1 めざす学校像

「衣を正し、時を守り、場を清める、そして自分を磨く」の教育目標のもと、社会で通用する規範意識を醸成する。また、もう一つのキーワード「脳力開花」を掲げ、激動の社会で力強く生き抜き、生涯を通じて学び続ける力を高めようとする姿勢を育む。

- 基礎学力を確立したうえで、希望する進路先において論理的かつ科学的な発想ができるように、思考力、判断力、表現力を育成する。
- 特別活動や課外活動の活性化に力を注ぎ、自発的な行動力、創造的な企画運営力等を伸ばし、将来社会生活で活かすことができる資質を育成する。
- 挨拶励行・時間を大切にす・整理整頓実行・清潔な着衣など、社会人として通用する基本的な規範意識を定着させる。
- 寄り添いの姿勢とカウンセリングマインドを備えた指導を重視し、生徒や保護者から信頼され、安心して学ぶことができる学校となる。
- 全ての生徒が他者理解や思いやりの心を持つとともに、自らを大切にし、夢や希望を持って新しい社会を切り開く態度を育成する。

2 中期的目標

1 社会で通用する基礎学力の定着と希望する進路実現

- 基礎学力の充実と授業における ICT の効果的な活用を図る。
 - 1年時の国数英授業において、生徒の理解度や希望する進路に応じて少人数習熟度別授業を行って基礎学力の充実を図る。
 - 教科・科目の特質等を踏まえた上で、1人1台端末及びプロジェクターを効果的に活用して ICT を効果的に取り入れるとともに、生徒が協力して学び、成果をアウトプットできる授業を推進する。
 - ※ 少人数授業アンケートの実施教科平均の肯定率 令和7年度90%以上を維持 (R2 : 90%, R3 : 92%, R4 : 95%)
 - ※ 教育産業の1・2年生基礎力診断テストのGTZ平均値(国数英) 令和7年度までに C3- (R2 : C3-, R3 : D1-, R4 : D1-)
- 希望する進路の実現を図る。
 - 一人ひとりの生徒が希望する進路を実現する。
 - 将来に夢や志を持って自己の可能性を広げ、自らの職業観・勤労観の形成を重視したキャリア教育を行う。
 - ※ 3年生徒向け「自分の希望した進路への満足度」 R7年度まで90%台の維持 (R4 : 96%)
- 主体的・対話的で深い学びの実現をめざした授業を行うとともに、授業力の向上、観点別評価の定着・改善を図る。
 - ※ 生徒向け学校教育自己診断の授業満足度 令和7年度80% (R2 : 68%, R3 : 67%, R4 : 74%)

2 多様で変化が激しい社会で生き抜く力の育成

- 服装・遅刻指導や美化活動等の適切な生活指導や教育相談を通して、社会人として通用する規範意識の定着を図る。
 - 学校目標である「時を守り」の徹底を図り、遅刻指導体制を充実させ遅刻数を大幅に減らす。
 - 課題を抱える生徒について SC・SSW と緊密に連携し、生徒情報交換、ケース会議等を実施し、支援委員会を中心に指導方針を明示する。
 - ※ 遅刻者数 令和7年度3000以下 (R2 : 2836 R3 : 3346 R4 : 3222)
 - ※ 皆勤者数 令和7年度140人以上 (R2 : 175人, R3 : 102人, R4 : 100人)
 - ※ 生徒向け学校教育自己診断「困ったことや悩みがあるとき相談できる先生がいる」肯定率 令和7年度70% (R2 : 63%, R3 : 60%, R4 : 64%)
- 特別活動等の活性化を図る。
 - 生徒会行事、学年行事、部活動を活性化し学校への帰属意識を高め、明るく元気な学校生活を送ることができるように支援する。
 - 部活動、各種検定等の優秀者に対し、式典の際に「守口東激励賞」(副賞:オリジナルタオル)を贈り、特別活動や検定試験への参加を促す。
 - ※ 部活動加入率 令和7年度40% (R2 : 45%, R3 : 36%, R4 : 27%)
 - ※ 生徒向け学校教育自己診断「学校行事が楽しい」肯定率 令和7年度85% (R2 : 77%, R3 : 83%, R4 : 77%)
- 「いじめ防止対策推進法」のいじめの定義を踏まえ、いじめを認知した際には「いじめは絶対に許さない」との強い決意のもと、迅速かつ適切に対応する。
 - ※ 生徒向け学校教育自己診断「先生はいじめについて困っていることがあれば真剣に対応してくれる」肯定率 令和7年度86% (R2 : 76%, R3 : 76%, R4 : 83%)
- 災害発生時に迅速かつ安全に対応できるよう、市や近隣施設とも連携した訓練を実施し、万全の防災体制を構築する。

3 地域に愛される魅力ある学校づくり

- 情報発信と外部組織との連携を図る。
 - 異なる校種間交流や地域コミュニティとの連携等の機会を設定し、協働の意識を醸成する。
 - Web ページ、メールマガジン、電光掲示板、校内ディスプレイ等を充実させ、学校内の教育活動を内外に発信するとともに、中学生にとって行きたい学校となる。
 - ※ 保護者向け学校教育自己診断「HP やメールマガジンで学校の様子がよくわかる」肯定率 令和7年度85% (R2 : 71%, R3 : 77%, R4 : 74%)
- 授業等を通じた国際交流を行うとともに、自身のキャリアデザインを考え、グローバルに活躍できる人材を育成する。

4 働き方改革の推進と機能的な校内体制の整備

- 働き方改革の推進に取り組む。
 - ※ 教職員向け学校教育自己診断「本校における働き方改革に係る取組みは進んだ」肯定率 令和7年度90% (新規)
- 安全衛生委員会を更に活性化し、教職員間の意思疎通を円滑にするとともに、縦・横の風通しの良い職場の実現をめざす。
 - ※ ストレスチェック分析結果における「職場の総合健康リスク」(全国平均100で低い方が理想) 令和7年度90ポイント (R2 : 90, R3 : 86, R4 : 98)

【学校教育自己診断の結果と分析・学校運営協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析 [令和 年 月実施分]	学校運営協議会からの意見

3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標[R4年度値]	自己評価
1 社会で通用する基礎学力の定着と 希望する進路実現	<p>(1) 基礎学力の充実と ICT 活用授業</p> <p>ア 少人数習熟度別授業の実施</p> <p>イ 教科・科目の特質等を踏まえ、授業における ICT の効果的な活用</p> <p>(2) 希望する進路の実現</p> <p>ア 一人ひとりの生徒が希望する進路の実現</p> <p>イ キャリア教育</p> <p>(3) 主体的・対話的で深い学びの実現、授業力、観点別評価</p>	<p>(1)</p> <p>ア 1年生国数英は少人数習熟度別授業を行う。</p> <p>イ 各教員が教科・科目の特質等を踏まえた上で1人1台端末を効果的に活用した授業に取り組むとともに、「授業見学週間」においては一層積極的に1人1台端末を活用した授業を公開する。</p> <p>(2)</p> <p>ア ・進路の実現のために、前向きな姿勢で全教職員が全力で生徒をサポートする。</p> <p>・進学講習を継続的に行う。</p> <p>・各種検定の講習・表彰を行い、受験を奨励し、将来の進路に生かす。</p> <p>イ ・進路ガイダンスを実施し、様々な進路について早い段階から考える機会を設ける。</p> <p>・高専大連携として出前授業を実施する。</p> <p>(3) 首席を中心に「授業見学週間」や「研修」を実施し、学校全体で授業改善に取り組む。</p>	<p><学校教育自己診断は生診：生徒、保診：保護者、教診：教職員と略></p> <p>(1)</p> <p>ア 少人数授業アンケートの平均肯定率90%以上を維持 [95%：国95%, 数92%, 英98%]</p> <p>イ 1人1台端末を活用するように取り組んだ授業実施の教員87% [84%]</p> <p>(2)</p> <p>ア ・3年生診「自分の希望した進路に満足」90%台の維持[96%]</p> <p>・検定の受験者合計10%増 [297人：情報・ワープロ検193, 漢検87, 英検13, 数検4]</p> <p>イ 出前授業参加者数10%増[96人]</p> <p>(3) 教診「授業力改善」肯定率93% [90%]</p>	
2 多様で変化が激しい社会で 生き抜く力の育成	<p>(1) 規範意識の定着</p> <p>ア 遅刻指導体制の充実</p> <p>イ SC・SSW 連携</p> <p>(2) 特別活動等の活性化</p> <p>ア 各種行事や部活動の活性化</p> <p>イ 特別活動や検定試験への参加促進</p> <p>(3) いじめへの迅速かつ適切な対応</p> <p>(4) 防災体制の構築</p>	<p>(1)</p> <p>ア 登校時に生活指導部や担任が門に立つとともに、粘り強く遅刻指導を行い、遅刻者数を減らす。</p> <p>イ 支援委員会を中心に SC・SSW と連携しながら、寄り添う姿勢を大切にする。</p> <p>(2)</p> <p>ア 部活動体験と紹介映像の更新作成で部活動勧誘を促進して、加入率を向上させる。</p> <p>イ 終業式・始業式で守口東激励賞を贈り、特別活動や検定試験への参加を奨励する。</p> <p>(3) いじめを認知した際には、いじめられた生徒の立場に立って、迅速かつ適切に対応する。</p> <p>(4) 南海トラフ地震等の今後発生が予想される自然災害等に則した避難訓練を実施する。その際、予告なし避難訓練とする。</p>	<p>(1)</p> <p>ア ・年間遅刻者数3%減[3222]</p> <p>・皆勤賞115人[100人]</p> <p>イ 生診「困った事や悩みがある時、相談できる先生がいる」肯定率67%[64%]</p> <p>(2)</p> <p>ア 部活動加入率30% [27%]</p> <p>イ 部活動表彰や検定合格者等に31人/回贈る。(皆勤賞数含まず) [28人/回]</p> <p>(3) 生診「先生はいじめについて困っていることがあれば真剣に対応してくれる」肯定率86%[83%]</p> <p>(4) 具体的な災害を想定した予告なし避難訓練2回[2回]</p>	
3 地域に愛される魅力ある学校づくり	<p>(1) 情報発信と外部組織との連携</p> <p>ア 校種間交流や地域コミュニティとの連携</p> <p>イ 情報の発信と、中学生の行きたい学校</p> <p>(2) 国際交流の推進</p>	<p>(1)</p> <p>ア ・地元中学校へのお出前授業や中学校内説明会への参加を行う。</p> <p>・支援学校等との交流を行う。</p> <p>・中学校・支援学校の授業見学を実施する。</p> <p>イ ・パンフレットを新規デザインに変更する。</p> <p>・Web ページを新規デザインに変更し、ブログを含め、記事を随時更新する。</p> <p>・正門横電光掲示板で流すメッセージを時期に応じて変更する。</p> <p>(2) 授業等を通して、インターネットによる交流や海外にゆかりのある方を地域から招いた直接的な交流を行う。</p>	<p>(1)</p> <p>ア ・出前授業5回以上維持[6回]</p> <p>・支援学校交流2回[2回]</p> <p>・中学校・支援学校の授業見学2回[2回]</p> <p>イ ・アクセス数1日平均10%増 [77件/日]</p> <p>・保診「Web ページやメルマガで学校の様子がよくわかる」肯定率78%[74%]</p> <p>・電光掲示板20回以上更新 [23回]</p> <p>(2) 国際交流を2言語で計2種類以上行う。[2言語計4種類]</p>	
4 機能的な校内体制の整備と働き方改革の推進	<p>(1) 働き方改革の推進</p> <p>(2) 風通しの良い職場の実現</p>	<p>(1) 働き方改革の推進として、取組みを進める。</p> <p>・教職員1人1台端末を利用したペーパーレス会議</p> <p>・フォーム作成ツール等による生徒欠席連絡</p> <p>・全校一斉定時退庁日の設定</p> <p>・外線電話受付中止時間帯の設定</p> <p>(2) 安全衛生委員会が、産業医の時節に応じた専門的な情報を職場に提供する。縦・横の風通しの良い職場の実現をめざすとともに、上司・同僚からのサポートに努める。</p>	<p>(1) 教診「本校における働き方改革に係る取組みは進んだ」肯定率80%[新規]</p> <p>(2) ストレスチェック「職場の総合健康リスク」95ポイント[98ポイント]</p>	